



特別講演会＋ワークショップ③



テーマは「災害に強いコミュニティづくり」。日本の災害に強いコミュニティづくりの母である一般社団法人コミュニティヘルス研究機構の山岸暁美氏と、健康と社会の在り方、災害に強い社会を追究する「社会疫学」分野の父であるハーバード大学のイチロー・カワチ教授をお迎えして、特別講演会および振り返りワークショップを実施します。またとない機会をお見逃しなく☆

<特別講演会＋まとめワーク>

□日時

令和6年3月16日(日)14:00～17:00

□場所

高浜町文化会館(高浜町立石12-1)予定

□スケジュール(予定)

- 14:00～15:00 イチロー・カワチ教授特別講演
「地域のつながりと
災害に強いまちづくり」(仮)
- 15:00～16:00 山岸暁美氏特別講演
「能登地震から見た
災害に強いコミュニティ」(仮)
- 16:00～17:00 まとめワークショップなど

～一般社団法人コミュニティヘルス研究機構～

<https://rach-jp.net/>

～Society and Health Lab～

<http://societyandhealthlab.com>

<山岸暁美氏 プロフィール>

一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科(看護学修士)、国際医療福祉大大学院医療福祉学研究科(保健医療学博士)修了。日赤医療センター勤務後、渡豪し小児病院に勤務。帰国後、2000年から訪問看護に従事。07年厚労省戦略研究緩和ケア普及のための地域介入研究OPTIM-Studyプロジェクトマネジャー。10年に厚労省に入省し、診療報酬・介護報酬同時改定などに携わる。14年浜松医大医学部地域看護学講座助教。16年8月より慶應義塾大学医学部公衆衛生学教室講師、20年より現職。在宅看護専門看護師、社会福祉士、認定心理士。

<イチロー・カワチ教授 プロフィール>

ハーバード大学公衆衛生大学院社会行動科学学部 学部長・教授

1961年東京生まれ。12歳でニュージーランドに移住、オタゴ大学医学部卒業後、同大学で博士号を取得。1992年にハーバード大学公衆衛生大学院に着任、2008年より現職である社会行動科学学部 学部長・教授。米国科学アカデミーに属するアメリカ医学研究所(IOM)メンバー。使命は社会疫学の研究と後輩の育成。



まちづくり
×
ひとづくり
×
からだづくり

